学術事業報告

学発番号：学13-032

研修会名：北部学術研究班・生化学検査研修会

日時：平成25年9月13日

場所：西舞鶴駅交流センター第2会議室

主題1：どのようにして甲状腺疾患は診断されるか？～In vitro検査を中心に～

講師1：青木和雄氏(アボットジャパン株式会社学術情報部)

主題2：

講師2：

参加数：18人(会員18人)

報告者：余田武志(福知山市民病院BML検査室)

以下、講演内容など

甲状腺のIn Vitro検査は、甲状腺機能を診断するための検査と甲状腺疾患を診断するための検査の2つに分けることができます。甲状腺機能を診断するための検査として、甲状腺ホルモンのT4、T3や下垂体ホルモンのTSHがあります。甲状腺疾患を診断するための検査には、甲状腺に対する自己抗体であるサイログロブリン(Tg)抗体、サイロイドペルオキシダーゼ(TPO)抗体やTSH受容体抗体があります。それぞれの検査項目の概要、留意点、測定値の評価方法について、また甲状腺疾患の種類などについて講演していただきました。